

第5回 雪調に学ぶ講座

今 和次郎は終わらない—雪とすまいの考現学—

私達は、過去4回にわたり、**積雪地方農村経済調査所（雪調）**（昭和8年～昭和23年）の遺産を次世代に伝えるために講座を開催してきました。この度は、今 和次郎（1888～1973）をとりあげ、雪国の住宅改善にどのような関わり方をしたのかを考えます。

弘前生まれの彼は「雪国の生活を明るくするには、まず雪国の家屋改良ということからはじめなければと痛感される——「草屋根」（相模書房）（昭和16年）所収。」と考へ、雪調の依頼（昭和13年）にこたえ、雪調構内に、自然落雪の屋根、ガラス窓を多用した採光、居室の高層化、外階段からの出入り、ストーブの採用による暖房など、草屋根と障子の窓、雪に覆われれば全く光が入らない家屋が一般的な当時としては、画期的な試験家屋（実験農家）を建設します。これだけではなく、農家の一家族（鳥越集落の松田さん家族）に実際に住んでもらい、記録をとりながら、自分の仮説を実験、検証を行い改善していきました。これは日本の建築史上例のないことだと言われています。

「**積雪地方農家家屋改善に関する座談会速記**」（雪調資料65号）（昭和15年）

今 和次郎は、生まれるのが50年早かったと言われています。いや100年かもしれません。「**考現学**」（考古学に対しての意、未来予測のデータベース）を創始した今の眼は、21世紀の現在をも見据えているのかもしれません。

記

| | |
|------|--|
| 日時 | 平成27年3月28日(土)PM1:30～9:00 |
| 場所 | 新庄市「山屋セミナーハウス」(学習会・交流会・宿泊) 新庄市金沢3036-2 ☎0233・22・3527 |
| 内容 | 1. 報告 (PM1:40～2:10) ● 最上の手仕事調査について ● 旧蚕糸調査と雪調とのコラボについて 2. 学習会 (PM2:15～5:00) 講演 沼野夏生さん(東北工業大学教授) 「雪とすまいの考現学」 対談 沼野夏生さん×結城登美雄さん(民俗研究家) 「今 和次郎の手法から学ぶもの」 3. 俺にも言わせろコーナー (5:00～5:30) (アルコールが入る前にこれだけは言いたい。) 4. 交流会 (6:30～9:00) |
| 参加費 | 学習会(1000円)・交流会(2000円)・宿泊(朝食付き2000円) |
| 主催 | ネットワーク農縁 |
| 共催 | 最上の元気研究所・ゆかいな勉強会・スローフード山形・朝勉 |
| 協賛 | 手仕事フォーラム |
| 申し込み | ネットワーク農縁・佐藤まで。 Kamuro1365@white.plala.or.jp ☎09044772013 fax0233292085 |